



## 一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会 短期入所事業所 情報紹介シートについて

一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会 居宅ケア委員会 ショートステイ部会より

### 【短期入所事業所情報紹介シートについて】

市老協ショートステイ部会では、短期入所事業に携わる職員のための専門職研修や交流研修等、ショートステイサービスの質の向上をめざし、部会の活動を行っています。  
今回は、昨年度に作成しました「短期入所事業所情報紹介シート」について、ご紹介をさせていただきます。

### 【作成の経過】

作成することとなったのは、交流研修参加者の声と短期入所事業所の広報の必要性の2つの理由からでした。一つ目は、ショートステイ部会の取り組みである事業所間交流研修(※1)の参加者より、自事業所の課題の整理や適切なケアや環境を考える上で刺激となり、他の事業所のことを知りたいという声からあがったことでした。

もう一つは、地域の方や介護支援専門員の方々に、事業所の特徴や体制について、正確に知らせていただき、短期入所事業所を、在宅介護を安心して継続するための社会資源として、有効に活用していただきたいという思いからでした。  
※1交流研修は、短期入所事業所の職員を、他事業所に二日間、職員を派遣し、短期入所事業に関わるケアや過ごしていただき方の工夫や環境について学び、自らの事業所の運営の参考にするを目的とした研修。



### 【内容】

事業所のサービス体制、特徴、アピールポイント等を記載しています。  
各事業所とも1ページにまとめたシートのため、詳細な情報は網羅できていない部分もありますが、事業所の特徴を知っていたら、必要とされるサービスが必要な人に届くように、有効に活用していただきたいと考えています。

### 【閲覧方法】

下記の市老協ホームページにアクセスしていただくと、最初のホーム画面に「短期入所事業所 情報紹介シート」が掲載されていますので、クリックしていただくと、74施設の情報が閲覧することができます。

### 【広報について】

市老協ホームページへの掲載以外に、各地域で実施されている事業者の連絡会で、市老協ホームページや情報紹介シートの閲覧方法の案内チラシを配付しています。  
居宅介護支援事業所、地域包括支援センターはじめ、ショートステイのご利用を検討されている方々に有効に活用していただけるように発信していきたいと考えております。  
今後も、地域で安心して住み続けられるために、ショートステイサービスの質の向上をめざし、努力を重ねていきたいと考えております。

一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会  
ホームページ

<http://www.kyoto-srk.jp>

市老協74カ所の短期入所事業所の特徴、体制、  
アピールポイント等がPDFシートで確認できます。

介護スタッフが  
介護現場から届ける  
ありのままの作文集



ハートメッセージ(介護の仕事のやりがいや魅力を社会に伝える広報担当として委嘱された現場職員)自身が、仕事として選んだ『介護』に対するありのままの思いを、作文集としてまとめました。いま『介護』に関わる人にも、関わらない人にも知っていただきたい、60通りの介護職員の『忘れられない思い』が詰まっています。この作文集が、ひとりでも多くの方の目に触れ、現場の介護職員の思いが伝わることを、願っております。  
閲覧をご希望の方は、市老協事務局までお問い合わせください。

TEL：075-354-8743 担当：堀池、内田

## 市民のみなさまが笑顔でいきいきと過ごせる 健康長寿のまち・京都をさらに推進してまいります。

### ごあいさつ

平成二九年四月一日付で京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進担当局長に着任しました別府正広です。日ごろは本市高齢者福祉施策の推進に格別の御理解・御協力を賜りありがとうございます。

一般社団法人京都市老人福祉施設協議会の皆様におかれましては、一人ひとりの高齢者の健やかで尊厳ある暮らしのため、創意工夫を凝らした取組等を通じて、丁寧で心のこもった、質の高い福祉サービスを提供されていることにつきまして、深く敬意を表します。

また、平素から、様々な研修、人材育成事業や介護の日記念事業、各種調査研究事業に取り組みされると同時に、貴協議会と本市とのプロジェクト会議の開催等を通じて様々な御提言をいただくなど、本市の高齢者福祉施策の推進に多大な貢献をいただいております。

とりわけ、昨年度におきましては、介護の担い手不足が深刻化する中、新たに合同入職式や門川市長とハートメッセージャーのみなさんとの「おむすびミーツイング」を実施していただいたほか、ハートメッセージャーの皆様による心温まる作文集「介護を仕事にすること」を登

刊していただいたところ です。更には、地域包括ケアの拠点となる地域密着型特別養護老人ホームの整備推進を図るための方策を御検討いただく等、本市の高齢者福祉施策の向上に大きな力を発揮していただきました。

今年度につきましても、介護の担い手確保をはじめとする様々な課題について、貴協議会と一緒に取り組んでまいりたいと考えておりますので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

### 「健康長寿のまち・京都」にむけて

さて、今年度は、「第六期京都市民長寿すこやかプラン」の総仕上げの年度であるとともに、「第七期京都市民長寿すこやかプラン」の策定年度でもあります。

新たな京都市民長寿すこやかプランの策定に当たりましては、貴協議会の皆様による高齢者福祉の最前線での努力や創意工夫、現場での実践において培ってこられた深い知見と力強い御提言に学ばせていただくことが不可欠であると考えております。

本市におきましては、全世代を対象とした健康づくりや、高齢者福祉の取組を一体化し、保健・医療・福祉の融合による「健康長寿のまち・京都」の取組を地域コ



健康長寿のまち・京都推進担当

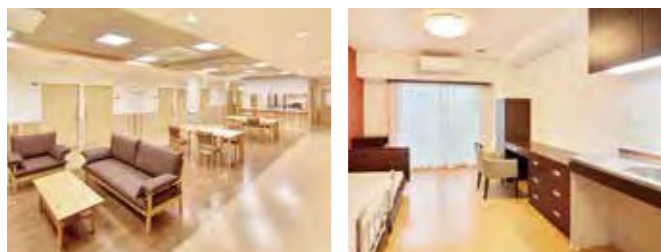
局長  
別府正広

ミュニティとの協働の下、より一層推進していくため、今年度から新たに「健康長寿のまち・京都推進室」を設置する等の体制整備を行ったところです。  
貴協議会の皆様をはじめ関係各位の御協力をいただき、しっかりと計画の最終年度の総仕上げを行うとともに、市民のみなさまが笑顔でいきいきと過ごせる健康長寿のまち・京都をさらに推進してまいります。  
今後とも、貴協議会の皆様との緊密な連携の下、高齢者福祉のさらなる充実のため、全力で取り組んでまいりますので、皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。  
結びに、貴協議会の皆様方へ御発展、並びに皆様の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。

2017.3  
NEW  
OPEN

FILE 01

# 地域密着型特別養護老人ホーム 鳥羽ホーム



## 地域密着型特別養護老人ホーム 鳥羽ホーム

<施設概要>  
法人名:社会福祉法人 清和園  
施設長:小村 一誠 / 管理者:小村 一誠  
所在地:〒601-8181  
京都市南区上鳥羽堀子町88番地  
電話:075-692-1147 / FAX:075-644-6093

### DATA

- 事業内容
- ・地域密着型特別養護老人ホーム 29名(3ユニット)
  - ・短期入所施設 10名(1ユニット)
  - ・通所介護 35名
  - ・認知症対応型通所介護 12名
  - ・訪問介護事業所
  - ・居宅介護支援事業所
  - ・サービス付き高齢者向け住宅 36室

清和園のHPIはこちら



## 地域が必要とされる 福祉拠点を目指します！

1962年(昭和37年)6月に開設した軽費老人ホーム鳥羽ホームが、2017年3月をもって開設いたしました。55年もの間、施設を育ててくださった地域の皆様には感謝の気持ちしかございません。これからも下鳥羽地域とともに歴史を紡ぎ続けたいという想いもありましたが、建物が限界を迎えたため上鳥羽地域に地域密着型特別養護老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅を兼ね備えた施設へと生まれ変わる選択をいたしました。

施設はより多くの方にご利用していただけるように、デイサービスセンター、認知症対応型デイサービスセン

ター、ホームヘルプサービス、居宅介護支援事業所などの在宅サービスを併設して、ご利用者に満足していただけるサービスを作り上げようと試行錯誤しているところです。

法人理念である「佛法僧(明るく、正しく、仲良く)」を大切にして、今後もこれまで軽費老人ホーム鳥羽ホームが紡いできた歴史を踏襲し、新天地でも変わらず地域に根差した活動を大切にす

る福祉拠点を目指す決意です。

まだまだ未熟で至らない点も多いと思いますが、諸先輩方との関わりを通じて少しずつ成長いたしますので、ご指導よろしくお願いたします。

# 市老協2017、新たな体制でスタートしました！



写真3列目左→中村倫典理事/西村久史理事/井上 章理事/児玉 直久理事/堀池 克彦理事(事務局長)、2列目左→水内 直理事/伊藤 康子理事/野口 智子理事/山内 幸雄監事/嶋本 富士雄監事、1列目左→川田 雅之副会長/河合 悟副会長/山岸 孝啓会長/橋本 武也副会長/溝口 武美副会長

**市老協、四月から新体制開始**

市老協は、四月一日に第一回理事会を開催し、新たな役員体制をスタートさせました。前期に引き続き、山岸会長(嵐山寮うたの・嵐山寮ひろさわ)、河合副会長(ヴィア向島)、溝口副会長(豊和園)、川田副会長(春日丘センター)、橋本副会長(同和園)の五名の正副会長が統投することとなりました。

会長及び副会長を含めた理事は二三名、そのうち児玉理事(香東園やましな)が新たに理事に就任し、継続の監事二名を加えた総勢一五名の役員を中心に、京都市民の皆さんに質の高いサービスを提供することなどを目的として、今後とも精力的に協議会活動に取り組んで参ります(役員写真参照)。

**新たな部会も発足します**

また組織については、前期二年間の活動実績や会員からの意見を踏まえ、より実情に即した委員会・部会の運営を目指した部会の名称変更や、細分化及び統合による変更を行いました(下図参照)。

総務委員会では、地域ブロック毎の協議の開催を休止しております現状に合わせて「企画・地域ブロック部会(旧)を、「企画部会」に変更いたしました。

経営・人材確保委員会では、「介護保険政策提言部会(旧)を「経営促進部会」と統合し、「経営促進部会」での経営実態調査結果と介護保険制度の課題の分析を踏まえて、今後も京都市等に対して政策提言を行うことといたします。

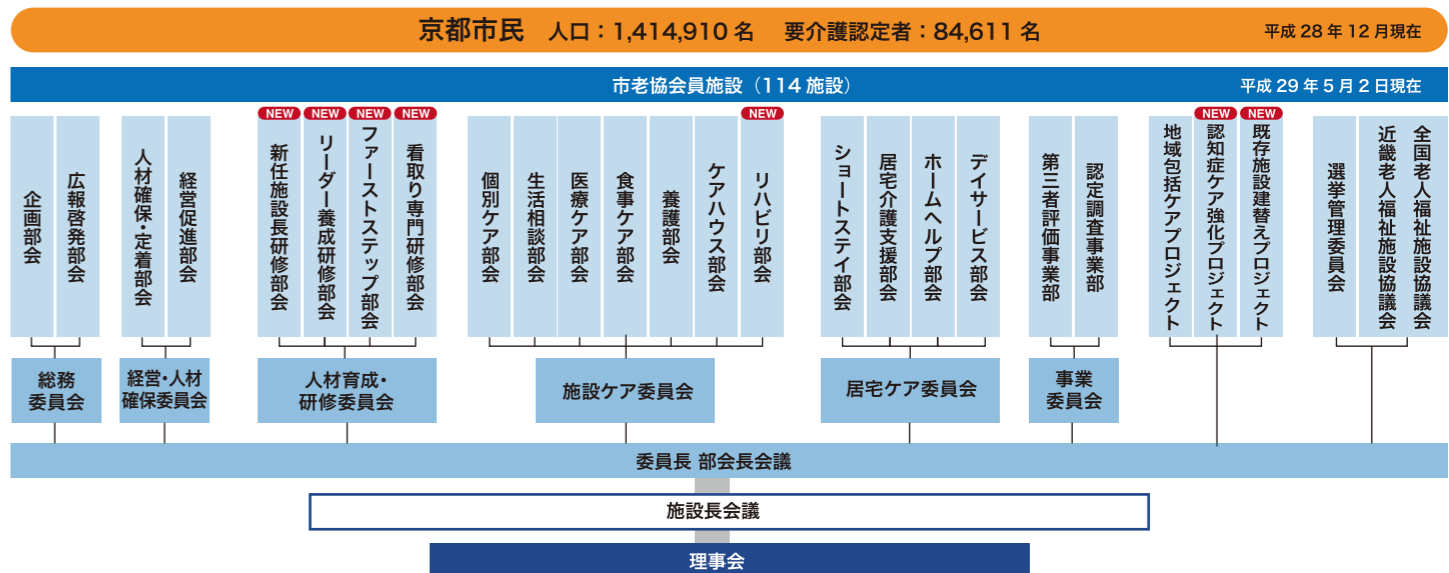
人材育成・研修委員会では、これまで「企画管理部会(旧)」と「研修実践部会(旧)」とで横断的に運営して参りました研修の体系を整理して、新たに「新任施設長研修部会」、「リーダー養成研修部会」、「ファーストステップ研修部会」、「看取り専門研修部会」の四つの部会を新設し、今後は部会長を中心に研修を運営して参ります。

施設ケア委員会では、ケアにおいて今後ますます重要な役割を担う、リハビリテーションの専門職(P.T・O.T・S.T)を対象とする部会としてリハビリプロジェクトを発展させ「リハビリ部会」を新設いたしました。

プロジェクトについては、「大会運営プロジェクト(旧)」は平成二八年度の近老協京都大会の終了により廃止し、「地域公益活動プロジェクト(旧)」は「地域包括ケアプロジェクト」と統合して今後一体的に活動することといたします。また新たに、認知症ケアに特化した課題や研修に取り組む「認知症ケア強化プロジェクト」と、老朽化した社会福祉施設の建て替えに係る課題について協議する「既存施設建て替えプロジェクト」を新設いたしました。

**よりよい福祉を目指して**

会員施設のニーズや、当協議会に対する期待ご意見を受け止めながら、京都市の高齢者福祉の充実を目指して、効果的・発展的な協議会活動を展開して参りたいと考えています。



2017.5  
NEW  
OPEN

FILE 03

# 特別養護老人ホーム うずまさ共生の郷



## 特別養護老人ホーム うずまさ共生の郷

<施設概要>  
法人名:社会福祉法人京都黎明福祉会  
施設長:湊 二郎 / 管理者:田上 紀代子  
所在地:〒616-8162  
京都市右京区太秦蜂岡町31番  
電話:075-864-2400 / FAX:075-864-2402

### DATA

#### 事業内容

- ・特別養護老人ホーム 80名(8ユニット)
- ※内 聴覚障がい者 10名(1ユニット)
- 短期入所施設 10名(1ユニット)



うずまさ共生の郷  
HPはこちら

「共に生きる」わたしらしくいきましょ  
2017年(平成29年)5月1日に、太秦の地において特別養護老人ホーム「うずまさ共生の郷」は開設いたしました。京都市跡地活用公募事業で、もと右京区役所跡地に建てられた施設です。すべての人々が安心していきいきと暮らせよう、人権を視座として高齢者ならびに聴覚障がい者の方が利用できる施設を運営し、地域福祉の増進、人権のまちづくりを推進してまいります。共に生きる——高齢であっても障がいがあっても「わたしらしくいきいき

と——、ご利用者お一人おひとりのかけがえない笑顔と思いを大切に毎日の生活を支えてまいります。いまスタッフは聴覚障がいがある方の受け入れのため、手話講座を取り組んでいます。またユニットでは「あらしやま」が「たかお」という地名を配し「住み慣れた暮らし」の実現と、右京区太秦の地に根差した施設をめざしてスタート致しました。これからも皆様方のご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

2017.3  
NEW  
OPEN

FILE 02

# 地域密着型特別養護老人ホーム 京都三モザの郷



## 地域密着型特別養護老人ホーム 京都三モザの郷

<施設概要>  
法人名:社会福祉法人京都眞生福祉会  
施設長:谷 公暁 / 管理者:吉田 三穂  
所在地:〒600-8804  
京都市下京区中堂寺前田町2-6  
電話:075-352-6700  
FAX:075-352-6633

### DATA

#### 事業内容

- ・地域密着型特別養護老人ホーム 27名(3ユニット)
- ・短期入所生活介護 9名(1ユニット)
- ・認知症対応型共同生活介護 18名(2ユニット)



三モザの郷  
HPはこちら

社会福祉法人京都眞生福祉会 特別養護老人ホーム京都三モザの郷はJR丹波口駅近くの下京区中堂寺において平成29年3月31日に開設いたしました。当法人は京都府亀岡市に十分な医療と介護のサービスが受けられる特別養護老人ホームを作りたいとの想いから設立し、これまで亀岡市と綾部市で高齢者施設を運営させていたため今回京都三モザの郷は3つ目の施設となります。当施設の屋上には遊歩道と花壇があり、天気の良い日にはご家族と一緒に日光浴を過ごしたり京都タワーなど京都市内の景観や四季の花々を楽しんだりすることができます。また、1階には地域の会合やイベント、介護予防教室、認知症カフェ等で利用していただくことを目的にした「地域交流スペース」を設けております。この地域交流スペースを地域の方々に開放し、交流を積極的に図るとともにご家族や地域の方との結びつき(絆)を大切に、皆様から信頼されるように頑張っております。

「お一人お一人の思いを受け止めて、尊厳ある暮らしの実現を目指してまいります。」  
今後は行政機関や居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、その他の介護保険施設や保健医療機関と密接な連携に努め、地域の高齢者及びそのご家族の皆様が住み慣れた自宅・地域で安心して暮らしていけるよう、自ら提供するサービスを見つめ直し、質の向上を目指していくとともにその利益を近隣地域の福祉に還元していきたいと考えております。また、居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入所前の居宅における生活と入所後の生活が連続したものとなるよう配慮しながらお一人お一人の思いを受け止め、創意工夫することにより尊厳を保持しつつ、自立した生活を営むことができるよう職員一同スキルアップを目指して奮闘しております。五月現在で特別養護老人ホーム26名、認知症対応型共同生活介護13名の方が入所され、近く満床予定となっております。今後とも皆様方からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

青野さんのお話は、障がいのある方だから感動するというものではなく、ひとりの人間として魅力にあふれています。

青野さんが経験した挫折、成長、そして夢をあきらめない強い気持ち、青野さんを支えてくれた家族や友人とのエピソードは、私たち福祉・介護にたずさわる者にたくさんの勇氣とヒントを与えてくれます。そして、毎日あたり前にしていることの「ありがたさ」を教えてください。入職式のアンケートでも、青野さんのお話がきけて良かった、感動したという意見をた



声楽家  
青野浩美さん

何にもまして幸せです。この幸せを十分にかみしめながら、おおいに勤労意欲を高めて、高齢福祉発展のために全力を尽くす覚悟です。」と、心強い言葉を聞かせていただきました。

**何度聞いても感動！声楽家・青野さんのお話**

記念講演は昨年に引き続き、声楽家青野浩美さんによる「前例がなければ作ればいい」を拝聴しました。



## 平成29年度 合同入職式

主催：一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会 後援：京都市 4月8日

### 合同入職式

桜の花が満開となった平成二九年四月八日、京都テルサにおいて第二回「合同入職式」が開催されました。この式は、新規採用職員のモチベーションを高め、各施設間の連携を深めることにより、人材の確保と定着を図ることを目的としています。

今年度は二四四名の新入職員、学校関係者などのご来賓、施設関係者等合わせて三三四名の参加がありました。

入職式に臨む皆さんの表情は、少し緊張していましたが、社会人として就職活動をしていた



山岸孝啓市老協会長



門川大作京都市長

くさんいただきました。

### 先輩からの応援歌

記念講演の後は、水内理事による市老協概要報告、そして市老協独自の取組みであるハートメッセンジャー（介護職の広報担当者）からの激励の言葉と、ハートメッセンジャーコーラス隊による合唱が披露されました。

曲は、シンガーソングライターの堀内圭三さんに作詞作曲していただいた「ハートメッセンジャー」や、AKB48の「365日の紙飛行機」の二曲でした。

コーラス隊の皆さんは、業務多忙の中、この日のために何回も集まっては練習を繰り返し、結果素晴らしい歌を披露してくださいました。指揮者の井篠さんのタクトに合わせて、これまでに以上に調和のとれた旋律が響きました。



大谷大学教授  
山下憲昭先生

頃よりも凛々しく、新たな決意に満ちていたと思います。

式は、市老協山岸会長の挨拶で開会しました。門川大作京都市長のご祝辞では、これまで門川市長が現場を見て、聞いて、感じてこられた介護のエピソードをご紹介いただきながら、新入職員への期待と激励のお言葉をいただきました。

そして今回より学校関係者を代表して、大谷大学教授山下憲昭先生より心温まるご祝辞をいただきました。

祝辞に引き続きは、入職者代表として、京都福祉サービス協会の井淵渉方さん、社会福祉法人七野会の小倉早織さんの二名が高らかに「決意表明」をされました。決意表明では「今日から晴れて高齢福祉の担い手としてスタートできる喜びを、このうえなく光栄に感じております。これは、今日入職を許された新入職員全員に共通する気持ちです。これからの毎日を、大きな誇りをもって働くことができることは、

ハートメッセンジャーの存在をつうじて、自法人だけでなく、京都市にたくさんの仲間がいることを知っていただけたと思います。

### 介護を仕事にする皆さんへ

プログラムの最後に、市老協河合副会長の挨拶で無事に閉会しました。その挨拶の中で、この日配られた作文集「介護を仕事にすること 人生の先輩と後輩」の紹介がありました。

この本は介護スタッフが介護現場から届けるありのままの作文集です。職員が体験したご利用者との出会い、喜び、学び、そして別れなど様々な思いが詰まっています。

合同入職式に間に合うように、担当スタッフが一丸となって作り上げました。この本は、市内の小中学校、図書館などにも配布されています。ぜひ、お手に取って読んでいただきたいと思えます。

合同入職式は、このように盛大に行われましたが、市老協としては、この熱気を絶やさないために、秋には新入職員を対象とした「フォローアップ研修」を企画しています。

初めての職場、初めての介護を経験し、不安と期待から少し成長した皆さんに、また会える日を楽しみにしています。

社会福祉法人 京都福祉サービス協会  
京都市修徳特別養護老人ホーム  
総務部長 恩田有生